

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	放置竹林整備のためのチップパーの導入と竹チップのお宝化
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 森の民ねばりん
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,480,756 円

#### 事業内容

放置竹林という厄介者をお宝に変える（スモールビジネス化）、竹チップ・パウダーの活用を通じた地域内資源循環の基盤づくり

- 竹チップパーの導入、竹林の伐採作業
- 竹（笹・葉）部分の飼料化に向けたヤギや牛への嗜好調査
- 竹チップ・竹パウダーの利用効果の検証
- 地域課題解決の機運醸成・事業継続のための課題の洗い出し



【チップパーによる破碎作業】

#### 事業効果

##### ○竹チップパーの導入、竹林の伐採作業

河川清掃ボランティアと放置竹林の伐採作業を実施。  
実施日：11月25日、12月20日、12月24日、12月25日、1月10日

##### ○竹（笹・葉）部分の飼料化に向けたヤギや牛への嗜好調査

ヤギなどの家畜飼料として竹の笹・葉部分の給餌を実施。通常の乾燥飼料には及ばないものの、嗜好性は良好。

##### ○竹チップ・竹パウダーの利用効果の検証

竹チップ・パウダーの肥料化・コンポストでの活用等に向け効果を検証。パウダーを袋に入れ発酵具合を確認した結果、日照・水分量・気温によって発酵具合にばらつきがあったため、発酵・保管方法に検討が必要。

##### ○地域課題解決の機運醸成・事業継続のための課題の洗い出し

- ・12月16日 根羽村山里文化祭（参加者 約50名）
  - ・2月17日 竹林の多面的利活用講習会（参加者 約60名）
- チップパーの展示と破碎デモを実施し、チップパーによる竹材活用の広報活動と機運醸成を図った。

事業目標の達成は短期的には困難であるが、将来的な事業目標というなかで、チップパーの導入により、放置竹林に対する意識の向上や、来年度以降事業を継続するための基盤づくりを行うことができた。

#### 今後の取り組み

竹林所有者だけではなく、村や県等の関係機関と連携をはかりながら、事業の継続を行う。特に、伐採作業等は危険が伴うため、安全性の確保と事業費の確保が今後の課題。竹パウダーに関しても、製造方法（発酵・保管など）の改善と、肥料などの利用効果の検証を継続していく。

#### 【目標・ねらい】

- ①放置竹林という厄介者をお宝に変える（スモールビジネス化）、竹チップ・竹パウダーの活用研究と地域内資源循環
- ②地域環境（里山・水源）の保全
- ③冬季の家畜飼料の確保による放牧型酪農（畜産業）の推進
- ④地域課題解決の為のコミュニティビジネス化

#### ※自己評価【 C 】

##### 【理由】

左記のとおり予定していた事業成果は得られたものの、想像よりも竹林の放置具合が深刻で、当初の予定していた作業範囲が達成できなかったため。また、事業継続のためのコミュニティビジネス化には多くの課題があるため。